

ようこそ。
紅の世界へ。

九年庵

国の名勝

秋の一般公開

KUNENAN
SAGA KANZAKI



〈 公開期間拡大 〉

令和7年 11.15 | 土 | ~ 30 | 日 | 公開時間 | 午前8時~午後4時

観覧料 | 1,000円(高校生以上) | 神埼駅南口前より路線バス[仁比山神社前]で降車

九年庵へは、公共交通機関をご利用ください



2025年秋

公開期間を拡大！

11月15日から23日までの9日間限定で開催していた秋の一般公開。

2025年は、より多くの方々に九年庵を楽しんでいただけるよう、

11月15日(土)から11月30日(日)までの16日間に期間を拡大します！

九年庵

KUNENAN
SAGA KANZAKI

ココにも注目！

九年庵のみどころ紹介

紅葉スポットとして知られていますが、それだけではありません。
ぜひ注目してほしい、おすすめのポイントをご紹介します！



久留米の作庭家阿理成(ほとりじょう)が手掛けた庭園です。石や樹木、池、水の流れといった自然の良さを存分に活かして作庭されました。



材料や意匠に細心かつ十分な吟味を加えられて作られています。佐賀では他に類を見ない、明治期の数寄屋建築(すきやけんちく)の逸品です。



足元にもご注目！九年庵にはたくさんの苔があり、紅葉と苔の緑が魅力的な景色を生み出しています。

九年庵の歴史

脊振山の麓仁比山の寺院跡地に、佐賀の大実業家・伊丹家により明治25年に家屋が、さらに明治33年から9年の歳月をかけて庭園が築かれました。伊丹家は九年庵を商談会や客人をもてなす社交の場としても用いており、大正6年5月には佐賀に帰郷した大隈重信夫妻も九年庵を訪れています。

昭和に入り、一時保存が危ぶまれましたが、昭和35年に月星グムの社長 倉田泰蔵氏が九年庵を入手して再整備を行っていただきます。倉田氏は料理人を雇い、九年庵で商談を行っていたと伝わります。

九年庵は、古い寺院の歴史の跡を継承し、明治時代の特色を残す庭園と建物とともに保存されており、山林を含む周囲の自然環境と一体となった景観が高く評価され、平成7年に国の名勝に指定されています。現在は佐賀県が所有しており、例年新緑の時期と紅葉の時期の年2回、期間限定で公開しています。